

# 新興国ハイイールド債券ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／債券

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新興国ハイイールド債券ファンド Bコース（為替ヘッジなし）」は、2018年9月19日に第70期の決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建ての新興国の高利回り事業債（以下「ハイイールド社債」といいます。）を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年3月20日～2018年9月19日

第65期	決算日：2018年4月19日
第66期	決算日：2018年5月21日
第67期	決算日：2018年6月19日
第68期	決算日：2018年7月19日
第69期	決算日：2018年8月20日
第70期	決算日：2018年9月19日

第70期末 (2018年9月19日)	基準価額	7,458円
	純資産総額	434百万円
第65期～ 第70期	騰落率	1.3%
	分配金合計	300円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

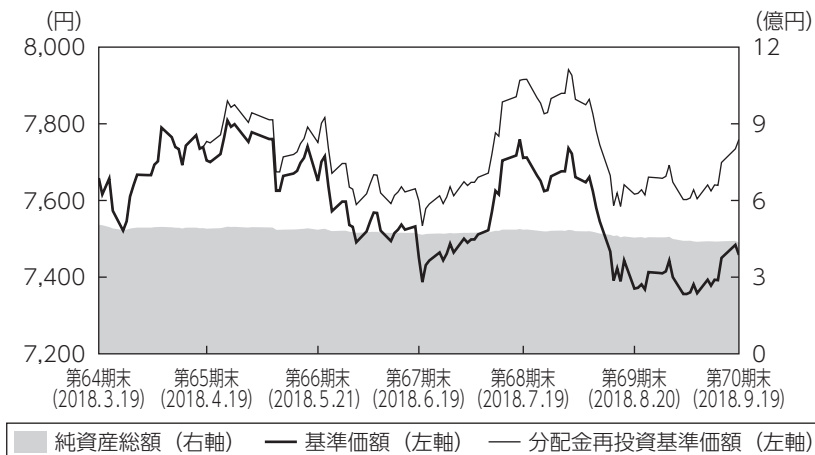
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第65期首： 7,658円  
 第70期末： 7,458円  
 (既払分配金300円)  
 騰落率： 1.3%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

主に円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (米ドルクラス)」受益証券への投資を通じて、米ドル建ての新興国のハイイールド社債に投資を行いました。その結果、米ドルが対円で上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第65期～第70期		項目の概要
	(2018年3月20日～2018年9月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	49円	0.642%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,589円です。
(投信会社)	(21)	(0.272)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(27)	(0.354)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	0	0.002	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(－)	(－)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(－)	(－)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	49	0.644	

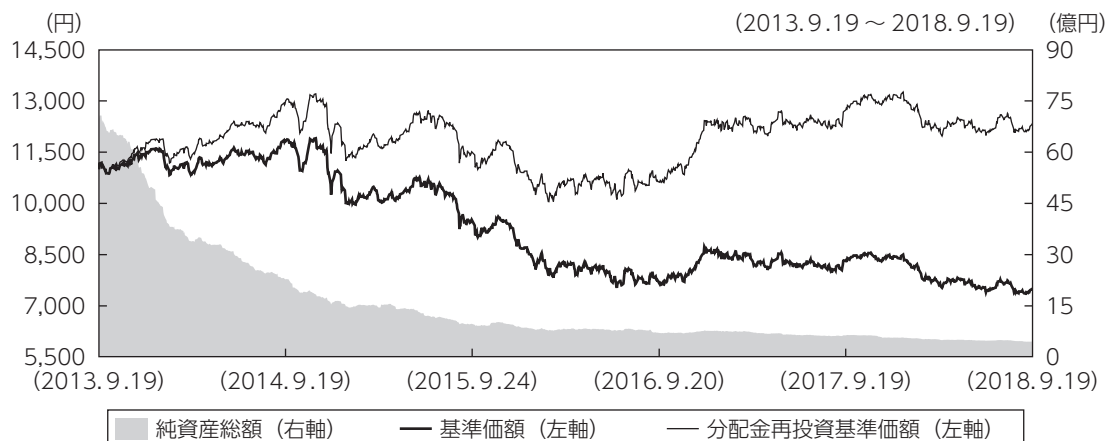
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2013年9月19日の基準価額に合わせて指数化しています。

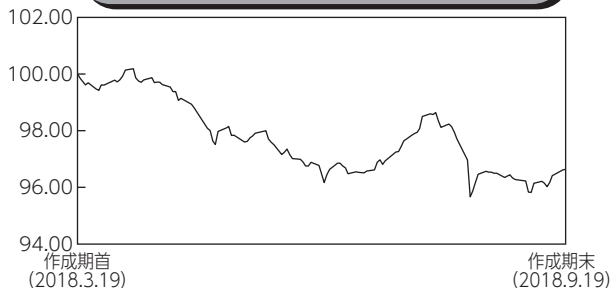
		2013年9月19日 期首	2014年9月19日 決算日	2015年9月24日 決算日	2016年9月20日 決算日	2017年9月19日 決算日	2018年9月19日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,000	11,822	9,350	7,627	8,303	7,458
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,080	1,080	1,080	800	600
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	18.3	△12.2	△7.0	20.0	△3.0
参考指数の騰落率	(%)	—	19.8	6.5	△1.3	21.1	△1.9
純資産総額	(百万円)	6,972	2,270	934	693	623	434

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJ PモルガンC EMB Iブロード・ハイイールド指数 (円ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 参考指数は、前営業日の同米ドルベースをもとに委託会社が独自に円換算しています。

## 投資環境

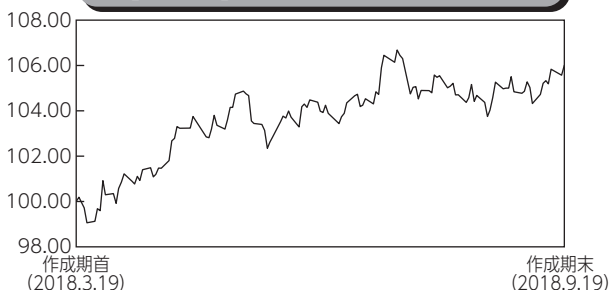
### ● 海外債券市場と為替市場

#### J PモルガンCEMBIブロード・ハイイールド指数（米ドルベース）の推移



(注) 値は前営業日のものを採用し、作成期首の値を100として指数化しています。

#### 【米ドル】対円為替レートの推移



(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

新興国ハイイールド社債市場は下落しました。

米国の保護主義的な通商政策に対する懸念や、米国国債利回り（10年）が一時3%を越える水準となったことによる新興国市場からの資金流出懸念などにより、作成期首から6月にかけて下落しました。その後は株式市場の上昇などから一時上昇する場面もあったものの、作成期末にかけては、米国人をトルコ当局が拘束していることを背景に米国がトルコに対して関税強化や制裁の発動を行ったことなどから、リスク回避姿勢が高まり軟調に推移しました。

米国国債との利回り格差（スプレッド）は拡大しました。前述の背景からトルコにおける拡大が目立った他、大統領選に対する不透明感が燦るブラジルや米中貿易摩擦の悪影響が懸念される中国のスプレッドも拡大しました。

米ドルは対円で上昇しました。米国のインフレ期待の高まりや、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが実施され、利上げ継続の方針が示されたことなどが上昇要因となりました。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの投資環境については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## ■ ポートフォリオについて

### ● 当ファンド

円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（米ドルクラス）」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

### ● エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（米ドルクラス）

主に、米ドル建ての新興国ハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指しました。

国別ではブラジルなどの中南米の組入比率を高めとしました。作成期首に高い組入比率としていたロシアは、米国による制裁の悪影響への懸念から、組入比率を引き下げました。一方、個別銘柄におけるバリュエーション面で投資妙味が高いと判断したイスラエルなどの組入比率を引き上げました。

格付別配分は、BB格とB格を中心としたポートフォリオを維持しました。

債券の組入比率は高位を維持しました。

保有する米ドル建て資産に対して対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は分配金再投資ベースで約1.8%上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

（主な上昇要因）

- ・米ドルが対円で上昇したこと
- ・債券の利息収入

（主な下落要因）

- ・保有する債券価格の下落

## 〔地域別・国別組入比率〕

2018年9月18日現在

地域名	国名	比率	
			うち国債
中南米		54.6%	1.7%
	ブラジル	27.7%	
	アルゼンチン	8.1%	
	コロンビア	3.9%	
	メキシコ	3.9%	
	ペルー	3.1%	
	チリ	2.4%	
	その他	5.4%	1.7%
アジア		13.9%	0.0%
	インドネシア	6.3%	
	シンガポール	2.3%	
	中国	2.2%	
	香港	1.8%	
	マカオ	1.3%	
欧州		16.9%	0.0%
	ロシア	10.6%	
	トルコ	6.3%	
アフリカ		9.6%	7.7%
	南アフリカ	1.9%	
	ガーナ	1.4%	1.4%
	その他	6.3%	6.3%
その他の地域		5.9%	
	地域計	100.9%	
	その他資産	△0.9%	
	合計	100.0%	

## 〔業種別組入比率〕

2018年9月18日現在

順位	業種	比率
1	石油・ガス	27.5%
2	情報通信	15.4%
3	国債	9.4%
4	工業等	9.2%
5	金融	8.2%
6	消費	7.9%
7	金属・鉱業	7.0%
8	公益	6.9%
9	不動産	3.6%
10	多角経営	2.6%
11	パルプ・製紙	1.8%
12	インフラ	1.3%
13	運輸	0.0%
	その他業種	0.0%
	その他資産	△0.9%
	合計	100.0%

## 〔格付別組入比率〕

2018年9月18日現在

格付け	比率
A+	0.0%
A	0.0%
A-	0.0%
BBB+	1.3%
BBB	1.3%
BBB-	10.2%
BB+	13.7%
BB	24.7%
BB-	25.9%
B+	9.9%
B	9.0%
B-	3.4%
CCC+	0.0%
CCC	0.0%
CCC-	0.0%
CC+	0.0%
CC	0.0%
CC-	0.0%
C+	0.0%
C	0.0%
C-	0.0%
D	0.0%
格付けなし	1.3%
その他資産	△0.9%
合計	100.0%

## 〔組入上位10銘柄〕

2018年9月18日現在

順位	銘柄名	国名	種別	利率	償還日	格付け	比率
1	ブラジル石油公社 (ペトロプラス)	ブラジル	石油・ガス	5.299%	2025/01/27	B B-	7.8%
2	ブラジル石油公社 (ペトロプラス)	ブラジル	石油・ガス	6.850%	2115/06/05	B B-	6.7%
3	ブラスケム・アメリカ・ファイナンス	ブラジル	工業等	7.125%	2041/07/22	B B+	3.5%
4	テパファーマスーティカル・ファイナンス・ネザーランド	イスラエル	消費	1.700%	2019/07/19	B B	3.2%
5	トルコ農業銀行	トルコ	金融	5.125%	2022/05/03	B+	2.9%
6	イタウ・ユニバンコ・ホールディング	ブラジル	金融	5.650%	2022/03/19	B B-	2.8%
7	ウルトラパール・インターナショナル	ブラジル	多角経営	5.250%	2026/10/06	B B+	2.6%
8	ミリコム・インターナショナル・セルラー	コロンビア	情報通信	6.000%	2025/03/15	B B	2.6%
9	セメックス	メキシコ	工業等	6.125%	2025/05/05	B B	2.6%
10	パンパ・エネルヒア	アルゼンチン	石油・ガス	7.500%	2027/01/24	B	2.6%

(注1) グラフおよび表中の比率は、当ファンドが主に投資対象とする「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用を行うウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーなどから提供されたデータに基づき、アセットマネジメントOneが算出および表示をしています。

(注2) 組入比率は「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の純資産総額に対する割合を表示しております。

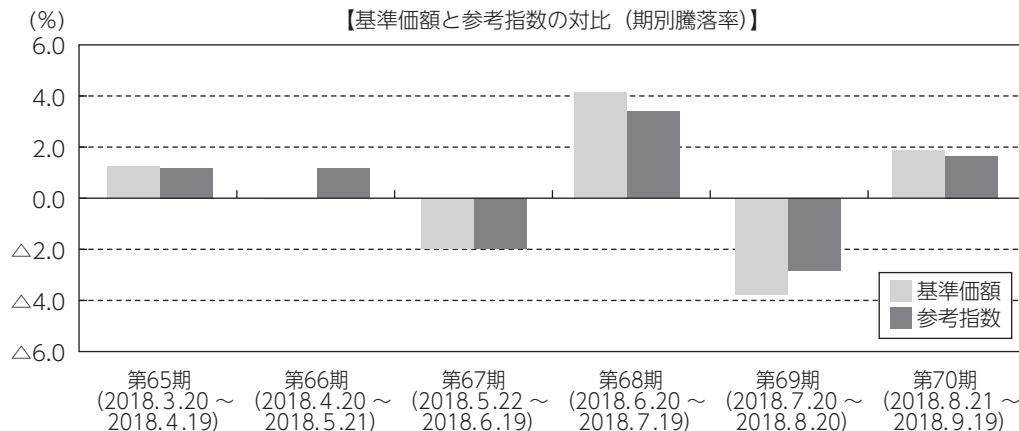
(注3) 国名および業種名は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーの定義によるものです。

(注4) 格付けは、S & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

※MHAM短期金融資産マザーファンドのポートフォリオの状況については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

当作成期の収益分配金は、配当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
	2018年3月20日 ~2018年4月19日	2018年4月20日 ~2018年5月21日	2018年5月22日 ~2018年6月19日	2018年6月20日 ~2018年7月19日	2018年7月20日 ~2018年8月20日	2018年8月21日 ~2018年9月19日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	0.645%	0.649%	0.667%	0.644%	0.674%	0.666%
当期の収益	33円	31円	33円	43円	32円	39円
当期の収益以外	16円	18円	17円	7円	17円	11円
翌期繰越分配対象額	527円	509円	492円	485円	468円	457円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。



## 今後の運用方針

### ●当ファンド

円建ての外国籍投資信託「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（米ドルクラス）」受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ●エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（米ドルクラス）

新興国ハイイールド社債市場は、投資家のリスク許容度の変化の影響を受けやすいことから、今後も米国の政策見通しや資源価格の動向などには注意が必要です。

足元では軟調な動きが続いていますが、世界経済の回復傾向や資源価格の底堅さ、新興国における外的ショックに対する抵抗力の高まりから、引き続き新興国市場には投資妙味があると考えています。また、新興国の一部では構造改革が期待されていることや、同社債の利回りが相対的に高いことから根強い投資家需要が見込まれ、中長期的には底堅い値動きになると考えます。

主として米ドル建ての新興国のハイイールド社債に分散投資を行い、国・地域やセクターにおける分散を意識しながら、割高な銘柄への投資を抑制し、バリュエーション面で投資妙味の高い銘柄に投資する方針です。また、米国の利上げや米政権の通商政策による影響も注視します。

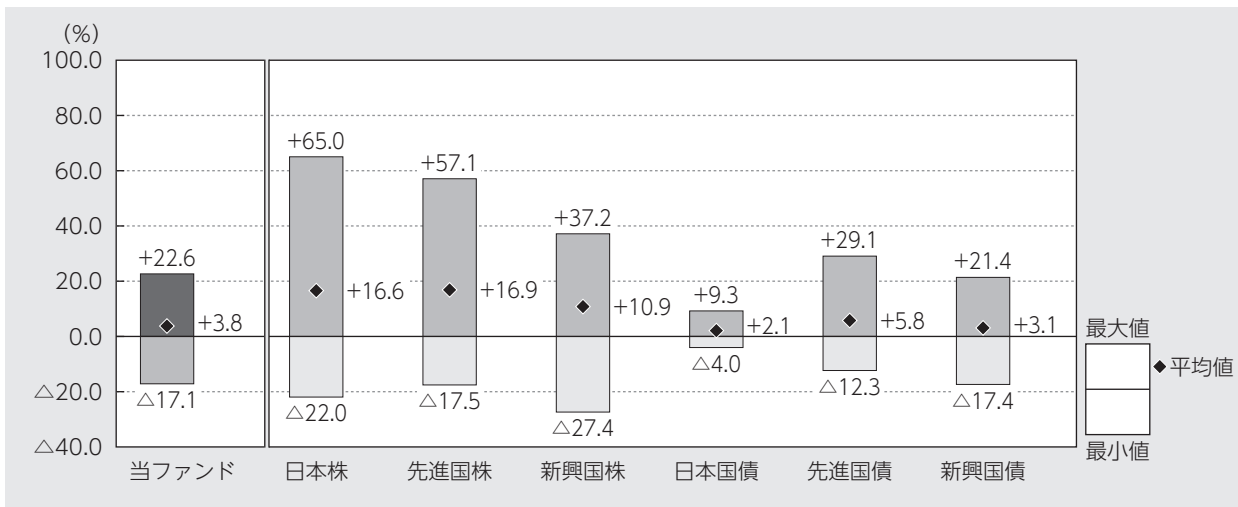
また、保有する米ドル建て資産に対して対円での為替ヘッジは行いません。

※MHAM短期金融資産マザーファンドの今後の運用方針については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年11月30日から2019年9月19日までです。 なお、クローズド期間はありません。	
運用方針	米ドル建ての新興国のハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	新興国ハイイールド債券 ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	円建ての外国投資信託である「エマージング・ハイ・イールド・ ボンド・ファンド (米ドルクラス)」受益証券および円建ての国内 籍の投資信託である「MHAM短期金融資産マザーファンド」受 益証券を主要投資対象とします。
	エマージング・ハイ・ イールド・ボンド・ファンド (米ドルクラス)	主に米ドル建ての新興国のハイイールド社債を投資対象とします。 なお、米ドル建ての新興国ソブリン債 (投資適格ソブリン債、ハイ イールドソブリン債) および新興国投資適格社債に投資を行う 場合があります。
	MHAM短期金融資産 マザーファンド	わが国の短期公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	円建ての外国投資信託への投資を中心にを行い、投資対象ファンドの合計組入比率は、 高位を維持することを基本とします。 円建ての外国投資信託では、米ドル建て資産について、原則として、為替ヘッジを行 いません。 外国投資信託受益証券への運用指図に関する権限を、レグ・メイソン・アセット・ マネジメント株式会社に委託します。	
分配方針	第4期以降の毎期 (原則として毎月19日)、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益お よび売買益 (評価益を含みます。) 等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は、配 当等収益の水準、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託会社が決定します。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2013年9月～2018年8月

(注1) 上記のグラフは2013年9月から2018年8月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。また、当ファンドについては、ファンドの設定日（2012年11月30日）から2018年8月までの1年騰落率（2013年11月は対当初元本（10,000円）の騰落率）の平均・最大・最小を表示しています。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2018年9月19日現在)

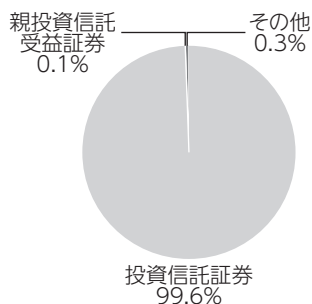
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	第70期末
	2018年9月19日
エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (米ドルクラス)	99.6%
MHAM短期金融資産マザーファンド	0.1%

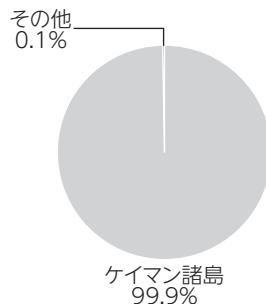
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

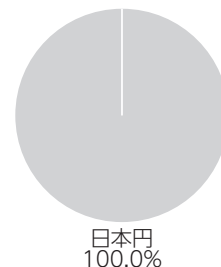
### ◆資産別配分



### ◆国・地域別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国・地域別配分についてはポートフォリオの合計 (除く現金) に対する割合です。

(注2) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

### 純資産等

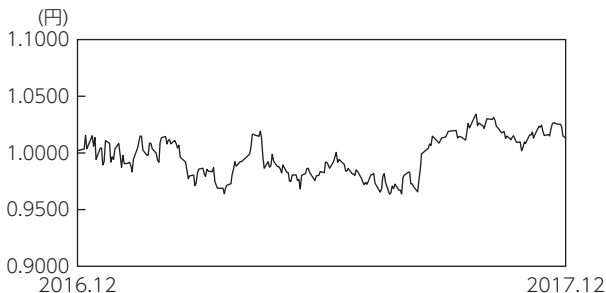
項目	第65期末	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末
	2018年4月19日	2018年5月21日	2018年6月19日	2018年7月19日	2018年8月20日	2018年9月19日
純資産総額	489,412,209円	485,262,885円	468,287,771円	485,352,445円	454,517,187円	434,523,963円
受益権総口数	635,277,861口	634,225,478口	628,522,087口	629,428,101口	616,737,205口	582,626,050口
1万口当たり基準価額	7,704円	7,651円	7,451円	7,711円	7,370円	7,458円

(注) 当作成期間 (第65期～第70期) における追加設定元本額は16,450,540円、同解約元本額は92,975,172円です。

## 組入ファンドの概要

【エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（米ドルクラス）】（計算期間 2017年1月1日～2017年12月31日）

### ◆基準価額の推移



### ◆1万口当たりの費用明細

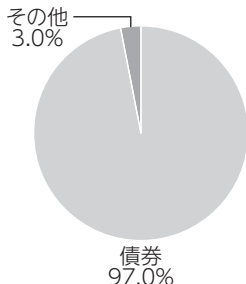
当該情報が取得できないため記載しておりません。

### ◆組入上位銘柄

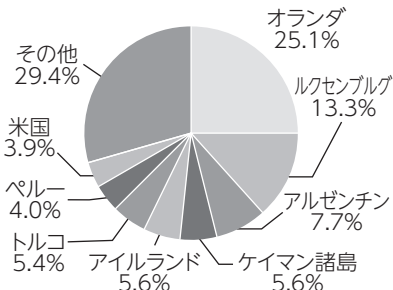
（組入銘柄数：53銘柄）

順位	銘柄	比率 %
1	PETROBRAS GBL FIN. 6.85% 06/05/20115	8.1
2	PETROBRAS GLOB 5.299% 01/27/25 REGS	6.1
3	SBERBANK FXtoVA 02/26/24	4.9
4	BRASKEM AMERICA 7.125% 07/22/41 REGS	3.8
5	ROSNEFT OIL CO 4.20% 03/06/22	3.4
6	ITAU UNIBANCO/K 5.650% 03/19/22	3.0
7	BAHIA SUL HLDGS 5.750% 07/14/26 REGS	2.5
8	REP OF NIGERIA 7.875% 02/16/32 REGS	2.2
9	VALE OVERSEAS 6.250% 08/10/26	2.1
10	ULTRAPAR INTL 5.250% 10/06/26 REGS	2.1

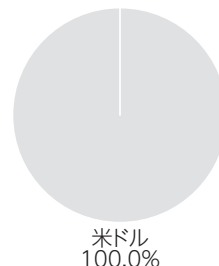
### ◆資産別配分



### ◆国・地域別配分



### ◆通貨別配分



（注1）上記は、委託会社が入手した直近の計算期間末のものです。

（注2）組入上位銘柄、資産別配分、国・地域別配分および通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の内容になります。

（注3）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国・地域別配分および通貨別配分については投資有価証券評価額合計に対する割合です。

（注4）その他は100%と配分比率の合計との差になります。

（注5）当ファンドが保有する全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

[MHAM短期金融資産マザーファンド] (計算期間 2017年7月1日～2018年7月2日)

◆基準価額の推移



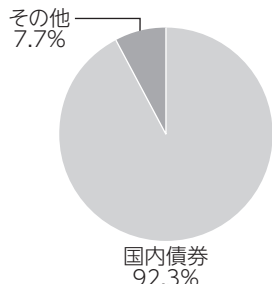
◆1万口当たりの費用明細  
該当事項はありません。

◆組入上位銘柄

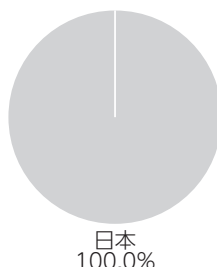
(組入銘柄数：15銘柄)

順位	銘柄	種別	利率	償還日	比率
1	平成20年度第5回 埼玉県公募公債	地方債	1.73%	2018/11/27	10.4%
2	第161回 神奈川県公募公債	地方債	1.57%	2019/03/20	10.1%
3	第346回 九州電力社債	普通社債	2.00%	2018/10/25	9.1%
4	第16回 国際協力機構債券	特殊債 (金融債以外)	0.30%	2018/12/26	8.9%
5	平成20年度第3回 千葉県公募公債	地方債	1.78%	2018/07/25	8.5%
6	平成21年度第3回 千葉県公募公債	地方債	1.64%	2019/06/25	8.3%
7	平成25年度第12回 京都府公募公債	地方債	0.22%	2018/12/20	7.5%
8	平成20年度第8回 千葉県公募公債	地方債	1.48%	2019/02/25	6.1%
9	平成21年度第2回 千葉県公募公債	地方債	1.57%	2019/05/24	5.1%
10	平成21年度第2回 愛知県公募公債 (10年)	地方債	1.56%	2019/05/28	5.1%

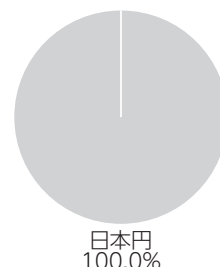
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものであります。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計 (除く現金) に対する割合です。

(注3) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注4) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

## <当ファンドの参考指数について>

### ● J P モルガン C E M B I ブロード・ハイイールド指数 (円ベース)

「J P モルガン C E M B I ブロード・ハイイールド指数」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数 (T O P I X)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (株)東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。

●「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は M S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「N O M U R A - B P I 国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「F T S E 世界国債インデックス (除く日本)」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は F T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。

●「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

